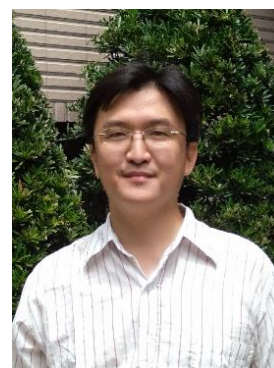


## 瑞愛生医(レッドアイ)創業者紹介:

1) 瑞愛生医(レッドアイ)創業者の顔碩廷博士は、台湾交通大学電子研究所の博士課程で半導体デバイス物理の世界的権威である Simon M. Sze(施敏)教授に師事。博士課程修了後、鴻海精密工業でフラットパネルディスプレイ光電システムの開発に携わる。これまで主に光電デバイス、半導体製造、バイオ医療光電技術などの研究を行い、光電・半導体関連の書籍、学術誌およびカンファレンスで 26 編の文章を発表。また、SCI 国際学術誌『Applied Physics Letters』の審査委員を担当した。米国で約 50 件、台湾で 100 件以上、中国で 80 件以上の特許を所有する。



2) ヘモグロビン測定器「レッドアイ」の技術は、顔博士の長年にわたる研究開発の成果である。現在 10 件を超える特許を申請済みで、独自開発された技術は業界をリードする絶対的な強みを持つ。製品外観やパッケージは、顧客の要望に合わせて変更可能だ。また、顧客が自社ブランド製品に「レッドアイ」を採用して、製品認証を申請してもよい。瑞愛生医は認証に必要な技術支援の提供、そして測定器の生産・出荷を行う。

## 「レッドアイ」技術の応用:

1) 便器内に排出した糞便に目では確認できない血液が混ざっていた場合、糞便が溶けた水を「レッドアイ」で検査すると陽性反応が現れる。使用者は早期警告を受け取り、自宅で大腸がん予防を行うことができる。

2) 便器内の尿が溶けた水、あるいは採尿カップに排出した尿に血液が混ざっていた場合、「レッドアイ」で検査すると陽性反応が現れる。使用者は早期警告を受け取り、病院で腎臓病や膀胱がんの検査を受けることができる。早期治療を実現し、腎臓病が進行して人工透析が必要になったり、膀胱がんが悪化してしまう確率を下げる。

Redeye<sup>®</sup>  
let it see

Taiwan RedEye Biomedical Inc.

創業者・顔碩廷博士

2019/4/23